

エコファーマー申請書サポートシステム システム操作マニュアル

平成26年7月14日
株式会社 九州ソフタス

～～目次～～

1. 概要	1
2. ご利用の流れ	3
3. 基本操作	4
4. 入力画面	6
1. 基本情報（第1号様式）	6
2-1. 計画・目標の入力（第2号様式1ページ目）	8
2-2. 計画・目標の入力（第2号様式2ページ目）	10
2-3. 計画・目標の入力（第2号様式3ページ目）	12
3-1. 実施状況入力（第4号様式1ページ目）	14
3-2. 実施状況入力（第4号様式2ページ目）	16
3-3. 実施状況入力（第4号様式3ページ目）	19
5. 出力申請書	21
1. 第1号様式（導入計画認定申請書）	21
2. 第2号様式（持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画）	22
3. 第4号様式（持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画及び実施状況報告）	24
4. 第5号様式（一覧表）	26
5. くまもとグリーン農業・生産宣言申出書（生産宣言申出書（様式1））	27
6. QA一覧	28
7. 資料・付録について	29
8. 資料	30
資料1：品目・技術対応表	30
資料2：エコファーマー・グリーン農業技術対応表	32

1. 概要		改訂日	2014/7/14	改訂者	八太
-------	--	-----	-----------	-----	----

【1】本システムについて

本システムは、「エコファーマー申請書」および「グリーン農業生産宣言申出書」の作成を支援し、申請書を保存・印刷します。

【2】ご利用環境

本システムは、以下の条件を満たすパソコンにてご利用いただけます。

対象	条件
Excel	<ul style="list-style-type: none"> ・ Excel (2003以上) インストール済みであること ・ Excelのマクロが利用可能であること
プリンタ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常使うプリンターが設定済みであること

【3】フォルダ・ファイル説明

本システムでは以下のフォルダ、ファイルを使用します。

(1) フォルダ

システムでの名称	ファイル保存場所	説明
インストールフォルダ	C:\¥サポートシステム	システムのファイルを保存（インストール）するメインフォルダです。フォルダ自体を利用者自身で作成して、そこにファイルをコピーしてお使いください。 ※インストールフォルダを変更する場合は欄外注意事項を参照して下さい。
ファイル保存フォルダ	【インストールフォルダ】以下¥YYYYMMDDHHMISS	システムで作成した各申請書および、入力用ファイルを保存するフォルダです。システム起動時の年月日時分秒（YYYYMMDDHHMISS）の名称で、インストールフォルダ以下に自動的にフォルダを作成します。 例：C:\¥サポートシステム¥20140331095930

(※注意事項) インストールフォルダを変更する場合の注意点

パソコンの利用環境の制限により、上記インストールフォルダをご利用になれない場合、別のフォルダにファイルを保存してもシステムはご利用できます。ただし、以下の制約がありますのでご注意下さい。

- (制約1) : ファイルパスの文字数が多いとシステムが起動出来ない可能性があります。可能な限り短いファイルパスの設定をお願いします。
- (制約2) : お使いのExcelのバージョンが2010以降の場合、インストールフォルダをネットワーク上にするとシステムが起動出来ないことがあります。この場合、お使いのExcelで「保護ビュー」の設定を変更することでシステムがご利用になれます。

1. 概要		改訂日	2014/7/14	改訂者	八太
-------	--	-----	-----------	-----	----

(2) ファイル

システムでの名称	ファイル名	保存フォルダ	説明
入力用ファイル	エコファーマー申請書サポートシステム.xls エコファーマー申請書サポートシステム.xlsx	インストールフォルダ/ ファイル保存フォルダ	本システムのシステムファイルです。 このファイルをExcelから開くことで、申請書の作成および印刷ができます。 システムご利用前の「入力ファイル」は「インストールフォルダ」にあります。 システムご利用後の「入力ファイル」（申請書の情報を入力した「入力用ファイル」）は、ファイル保存フォルダに保存されます。 お使いのExcelのバージョンが「2007以降の場合」は「xlsx」のファイルを使用してください。 「2003以前の場合」は「xls」のファイルを使用してください。
第5号様式／一覧表	一覧表.xls	インストールフォルダ	エコファーマー申請書の第5号様式に準拠した一覧表です。 システムインストール時にインストールフォルダに保存してください。 申請書を作成するたびに更新しますが、自動印刷は行いません。
第1号様式	導入計画認定申請書.xls	ファイル保存フォルダ	システムが作成するエコファーマー第1号様式の申請書ファイルです。
第2号様式	持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画.xls	ファイル保存フォルダ	システムが作成するエコファーマー第2号様式の申請書ファイルです。
第4号様式	持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画及び実施状況報告.xls	ファイル保存フォルダ	システムが作成するエコファーマー第4号様式の申請書ファイルです。
生産宣言申出書	生産宣言申出書（様式1）.xls	ファイル保存フォルダ	システムが作成するグリーン農業生産宣言申出書の申請書ファイルです。

【4】 入力途中情報の保存と、申請書作成後の再入力

本システムはExcelファイルですので、申請書情報の作成中に入力用ファイル自体をExcelのファイルとして保存することで、入力途中の情報が保存できます。
保存先は「ファイル保存フォルダ」となります。

また、申請書作成時に

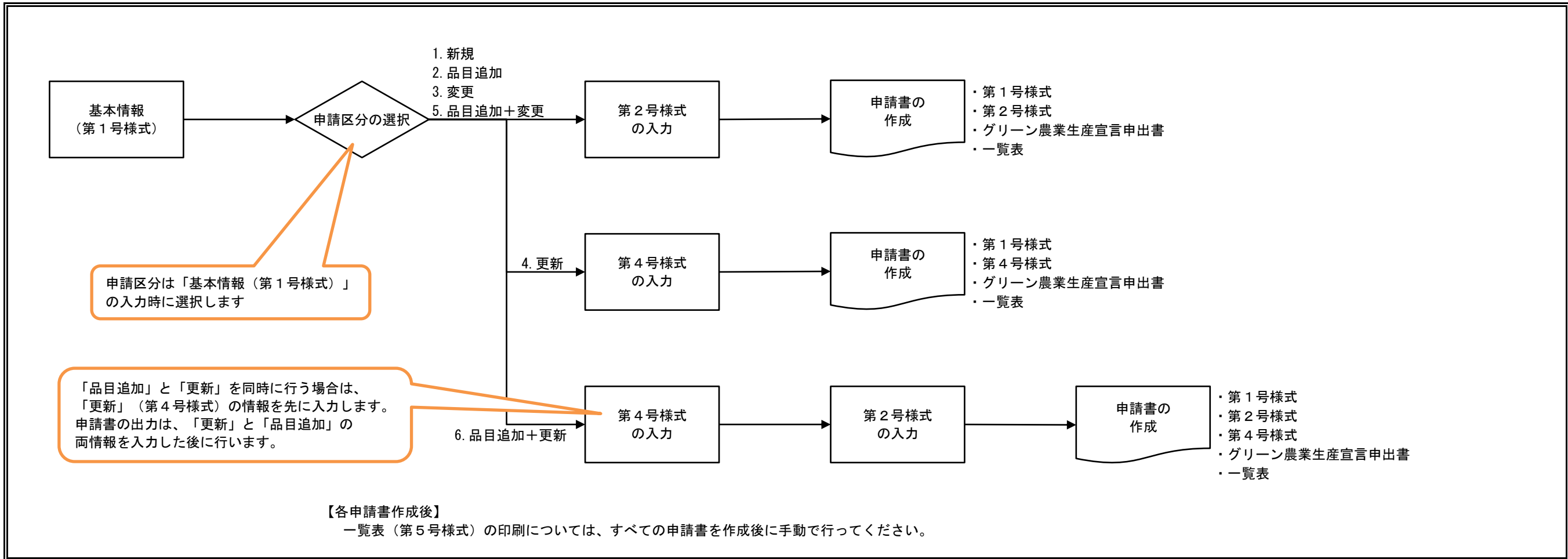
- ・ 入力用ファイル
- ・ 作成した各種申請書

がファイル保存フォルダに保存されます。

プリンタの故障（紙詰まり）により申請書を再印刷したい場合、または申請書の内容を書き直したい場合は保存されているファイルの再利用が可能です。

【1】ご利用のながれ

本システムで申請書を作る場合、以下の手順で操作していただきます。
各画面の詳細については後ほど説明します。



【2】申請区分について

基本情報の入力を行う際、申請区分の選択によって作成する申請書が異なります。
申請区分の選択と出力する申請書の相関関係については以下をご参照ください。

No	第1号様式での申請区分	出力する申請書				
		エコファーマー				グリーン農業 生産宣言申出書
		第1号	第2号	第4号	一覧表	
1	新規	○	○	—	○	○
2	品目追加	○	○	—	○	○
3	更新	○	—	○	○	○
4	変更	○	○	—	○	○
5	品目追加と変更の同時申請	○	○	—	○	○
6	品目追加と更新の同時申請	○	○	○	○	○

※上記表以外の申請区分の組み合わせは選択できません。

3. 基本操作	改訂日	2014/3/25	改訂者	八太
---------	-----	-----------	-----	----

【1】本システムでの項目入力について

本システムで各申請書の情報を入力する際は、以下の項目種類の入力を行います。

No	項目種類	説明	使用箇所例
1	年月日	日付形式で入力する項目です。 西暦の「YYYY/MM/DD」形式 和暦の「平成YY年MM月DD日」形式 どちらでも入力可能です。 また、上記以外でもExcelの日付（年月日）形式にあっていれば入力が可能です。	・申請日 ・生年月日
2	和暦	和暦年2桁（YY）の入力のみが可能な項目です。	・目標年度
3	チェックボックス	あらかじめ表示している項目のうち、いずれかを選択する場合に使用する項目です。 選択状態が「■」、未選択状態が「□」となります。 選択／未選択の状態変更は以下いずれかの操作で可能です。 ・リスト表示の中から「■/□」いずれかを選択する ・チェックボックスにカーソルを合わせて、キーボードの「Enter」キーを押す	・申請区分 ・認定農業者の有無 ・資材の施用量（全量）
4	リスト	あらかじめ設定されたリストの内容から対象を選択する際に使用する項目です。	・品目
5	半角文字	電話番号や郵便番号、数値などを入力する際に使用する項目です。 半角文字のみ入力可能なため、この項目では「漢字変換モード」にすることは出来ません。	・電話番号 ・各種面積 ・各種数量
6	全角文字	名前や住所、作型などを入力する際に使用する項目です。 漢字変換の結果、半角文字を入力することも可能です。	・氏名 ・住所 ・品種・作型名

【2】ガイドメッセージについて

本システムでは、入力を行う箇所にカーソルを当てた場合（Excelにてセルを選択した場合）に、入力項目に対してガイドメッセージを表示します。
入力時はそのガイドメッセージに沿った入力をお願いします。

【図：ガイドメッセージの表示例】

基本情報（第1号様式）

日付（申請日）※	平成28年2月14日
目標年度※	平成 年度
申請区分※	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 品目追加 <input type="checkbox"/> 更新 <input type="checkbox"/> 変更
氏名※	
生年月日※	30文字以内の文字を入力してください。
グリーン農業生産宣言 宣言番号（下5桁）	
生産者業種※	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人

セルを選択するとガイドメッセージが表示されますので、そちらに沿って記入してください。

【3】 1画面の入力完了とエラーメッセージ

各画面（Excelの1シートにあたります）の入力を完了した際、画面下部のボタンをクリックすることで、次のシートの入力に進みます。ただし画面内の入力内容にエラーがある場合はエラーが表示されますので、表示されたメッセージにそって入力内容を修正して下さい。

【図：第1号様式入力時に誤りがあった場合の表示例】

次へ

- ・「目標年度」が入力されていません。
- ・「申請区分」が選択されていません。
- ・「申請区分」は「新規／品目追加／更新／変更／品目追加+更新／品目追加+変更」のいずれかの選択をお願いします。
- ・「氏名」を入力してください。
- ・「生年月日」を入力してください。
- ・「生産者業種」には個人／法人どちらか一方にチェックをいれてください。
- ・「住所」を入力してください。
- ・「認定農業者番号」の有無にはどちらか一方にチェックをいれてください。

「次へ」ボタンをクリックした際に、シート内の入力に誤りがある場合は誤りの箇所が一覧表示されます。メッセージを確認して、それぞれについて入力内容を修正してください。

例：目標年度が入力されていません。
→目標年度の欄に年度の数値を記入してください。

【4】 申請書の出力

第2号様式、および第4号様式の入力の最後のシートには「申請書を作成する」ボタンがあります。そちらのボタンをクリックすることで、申請書の保存・印刷を行います。

- ・印刷 → おつかいのパソコンで「通常使うプリンター」に設定したプリンタに自動で印刷します
- ・保存 → 「1. 概要」に記載の「保存フォルダ」に申請書をExcel形式で保存します

【図：【申請書を作成する】ボタンの表示】

3 その他

最後のシート(第2号様式または第4号様式の3ページめ)の下部に「申請書を作成する」ボタンがあります。

申請書を作成する

【1】画面説明
 <画面イメージ>
 基本情報（第1号様式）

日付（申請日）※①	平成26年2月19日				
目標年度※②	平成	30	年度		
申請区分※③	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 品目追加 <input type="checkbox"/> 更新 <input type="checkbox"/> 変更				
氏名※④	くまもと太郎	くまもと花子			
生年月日※⑤	平成12年10月10日	平成12年2月2日			
グリーン農業生産宣言宣言番号（下5桁）⑥	11111	22222			
生産者業種※⑦	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人				
郵便番号⑧	888-8888				
住所※⑨	新規テスト				
電話番号※⑩	0999-99-9999				
携帯電話番号⑪	090-1111-9999				
認定番号⑫	1234567				
認定農業者の有無※⑬	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し				
備考（所属部会等）⑭	備考所属部会				

⑮ 次へ

<画面説明>
 エコファーマー申請書「第1号様式」の内容に準じた情報の入力するシートです。
 また、グリーン農業の「生産宣言申出書」に必要な内容についても入力します。
 申請者（氏名、生年月日、生産宣言の宣言番号）については5名まで併記が可能です。

【2】項目説明

No.	項目名	必須	入力制限	説明
1	日付（申請日）	○	西暦：YYYY/MM/DD 和暦：元号YY年MM月DD日	申請を行う年月日を入力してください。初期値は当日表示となります（変更可能です）。
2	目標年度	○	年2桁（和暦）	目標年度を入力してください。
3	申請区分	○	チェックボックス	申請時の区分を選択してください。選択可能な申請区分については「2. ご利用の流れ【2】申請区分について」をご参照ください。
4	氏名	※	25文字	申請者氏名を入力してください。1人目は必須入力となります。
5	生年月日	※	西暦：YYYY/MM/DD 和暦：元号YY年MM月DD日	申請者の生年月日（企業・団体の場合は設立日）を入力して下さい。1人目は必須入力となります。
6	グリーン農業生産宣言宣言番号（下5桁）	-	半角数字：99999	申請者が既にグリーン農業の生産宣言を行っている場合、その宣言番号の下5桁を記入して下さい。
7	生産者業種	○	チェックボックス	申請者の個人/法人区分を指定してください。
8	郵便番号	-	半角文字8桁	申請者の郵便番号。半角数字7桁で入力してください。ハイフン付きで8桁の入力も可能です。
9	住所	○	105文字	申請者の住所を入力してください。
10	電話番号	○	半角文字	申請者の電話番号を入力してください。
11	携帯電話番号	-	半角文字	申請者の携帯電話番号（連絡先番号）を入力してください。
12	認定番号	-	半角文字	申請者が既にエコファーマーの認定を受けている場合、その認定番号を記入してください。
13	認定農業者の有無	○	チェックボックス	申請者がエコファーマーの認定農業者か否かを選択してください。
14	備考	-	40文字	所属部会等、備考があれば記載してください。
15	「次へ」ボタン	-	-	本シート内のエラーチェックを行った上で、エラーがあればエラーを表示をします。エラーがない場合は、次のシートに移動します。

4. 入力画面	1. 基本情報（第1号様式）	改訂日	2014/3/25	改訂者	八太
---------	----------------	-----	-----------	-----	----

【3】エラーチェック

本シートでは以下のエラーが無いかチェックを行います。
エラーメッセージが表示された場合は、その内容にそって入力内容を修正して下さい。

No.	項目名	チェック内容	チェック内容詳細	エラー時表示メッセージ
1	日付（申請日）	必須入力チェック	入力無しの場合、エラー	・「日付（申請日）」が入力されていません。
2	目標年度	必須入力チェック	入力無しの場合、エラー	・「目標年度」が入力されていません。
3	申請区分	入力内容チェック	入力内容が「■」／「□」いずれにも該当しない場合エラー	・「申請区分」は「■／□」いずれかを選択してください。
		必須入力チェック	未選択時（すべて「□」の場合）、エラー	・「申請区分」が選択されていません。
		組み合わせチェック	申請区分の組み合わせが以下のいずれにも該当しない場合エラー 「新規／品目追加／更新／変更／品目追加＋更新／品目追加＋変更」	・「申請区分」は「新規／品目追加／更新／変更／品目追加＋更新／品目追加＋変更」のいずれかの選択としてください。
4	氏名	必須入力チェック	1つ目の氏名に入力が無い場合、エラー	・「氏名1」を入力してください。
		氏名関連チェック	氏名2～5が未入力時、対応する生年月日に入力がある場合、エラー	・「氏名X」を入力してください。（Xには2～5いずれかの数値を表示）
5	生年月日	必須入力チェック	1つ目の生年月日に入力が無い場合、エラー	・「生年月日1」を入力してください。
		生年月日関連チェック	生年月日2～5が未入力時、対応する氏名に入力がある場合、エラー	・「生年月日X」を入力してください。（Xには2～5いずれかの数値を表示）
		入力形式チェック	生年月日が日付形式で入力されていない場合エラー	・「生年月日X」は年月日の形式で入力してください。（Xには1～5いずれかの数値を表示）
6	生産者業種	必須入力チェック	未選択時（すべて「□」の場合）、エラー	・「生産者業種」には個人／法人どちらか一方にチェックをいれてください。
7	郵便番号	入力形式チェック	「999-9999」の形式でない場合、エラー ※数値7桁入力の場合、当該形式に変換する	・「郵便番号」を正しい形式で入力してください。
8	住所	必須入力チェック	入力無しの場合、エラー	・「住所」を入力してください。
9	電話番号	必須入力チェック	入力無しの場合、エラー	・「電話番号」を入力してください。
		入力形式チェック	電話番号の形式でない場合、エラー 許容値は以下 市外局番：5桁の半角数字 市内局番：4桁の半角数字 加入者番号：4桁の半角数字 各番号の間は「-」（半角ハイフン）	・「電話番号」を正しい形式で入力してください。
10	携帯電話番号	入力形式チェック	電話番号の形式でない場合、エラー 許容値は電話番号と同じ	・「携帯電話番号」を正しい形式で入力してください。
11	認定農業者の有無	必須入力チェック	未選択時（すべて「□」の場合）、エラー	・「認定農業者」の有無にはどちらか一方にチェックをいれてください。

【1】画面説明
 <画面イメージ>

計画・目標の入力 (第2号様式)

1 持続性の高い農業生産方式の導入に関する目標

(1) 農業経営の概況

経営面積 (a)	水田		労働人数 (農業従事者)	男性	
	普通畑			男性うち専従者	
	棚園地			女性	
	その他			女性うち専従者	
	合計	0.0			

(2) 作物別生産方式導入計画

生産方式導入作物数 ※本項目に数値を入力すると、下記表の行数が変更されます (入力可能数: 1~100)

連番	生産方式導入作物	導入面積 (a)	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目 (目標年)
④	作物名 ⑤	生産方式導入 ⑦					
	作型品種名 ⑥	作付全体 ⑧					
生産方式導入作物小計 ⑨		生産方式導入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		作付全体	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他作物 ⑩		作付全体					
合計 ⑪		作付全体	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑫ 次へ

<画面説明>

エコファーマー申請書「第2号様式」のうち、1ページ目の情報を入力するシートです。作物の同時申請数上限は100作物で、同一作物の重複も可能です。本ページで入力した作物数に応じて、「第2号様式」の2ページ目の入力数および出力ページ数が異なります。

【2】項目説明

(1) 農業経営の概況

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
1	経営面積	○	半角数字: 99,999.9 最小値: 1	水田、普通畑、樹園地、その他の経営面積を (a) 単位で入力してください。いずれか1つ以上は必ず入力が必要です。合計欄は自動計算。
2	労働人数 (農業従事者)	—	半角数字: 9,999 最小値: 0	農業従事者数を男女、および総数/専従者の区分で入力してください。

(2) 作物別生産方式導入計画

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
3	生産方式導入作物数	○	半角数字: 999 最小値: 1 最大値: 100	申請する作物の作物数を入力してください。この項目の入力により、画面内の作物入力欄が増減します。
4	連番	—	【初期表示項目】	生産方式を導入する作物を入力する順番を表示します。
5	作物名	※	リストより選択	生産方式導入作物の作物名をリストより選択して入力してください。1作物目 (連番1) も含め、表示している欄全て必須入力です。
6	作型品種名	—	20文字	作物の作型や品種名を入力してください。文字数制限内であれば自由入力です。
7	導入面積/生産方式導入	※	半角数字: 9,999.9 最小値: 0	生産方式を導入した作物の生産予定面積を目標年度までの1年単位で入力してください。1作物目 (連番1) も含め、表示している欄全て必須入力です。5年目 (目標年) は、作付全体面積の5割以上の面積でなければなりません。
8	導入面積/作付全体	※	半角数字: 9,999.9 最小値: 0	生産方式を導入する作物について、生産方式導入有無に関わらない全体の作付け面積を入力。1作物目 (連番1) も含め、表示している欄全て必須入力です。
9	生産方式導入作物小計	—	【自動設定項目】	生産方式を導入する作物全体の導入面積を、生産方式導入有無にかかわらず表示します。
10	その他作物	—	半角数字: 9,999 最小値: 0	生産方式を導入しない作物の作付け面積を、目標年度までの1年単位で入力してください。
11	合計	—	【自動設定項目】	生産方式導入作物 (作付全体) と、その他作物の作付全体面積の和を表示します。
12	「次へ」ボタン	—	—	本シート内のエラーチェックを行った上で、エラーがあればエラーを表示をします。エラーがない場合は、次のシートに移動します。

4. 入力画面	2-1. 計画・目標の入力（第2号様式1ページ目）	改訂日	2014/7/4	改訂者	八太
---------	---------------------------	-----	----------	-----	----

【3】エラーチェック

本シートでは以下のエラーが無いかチェックを行います。
エラーメッセージが表示された場合は、その内容にそって入力内容を修正して下さい。

(1) 農業経営の概況

No.	項目名	チェック内容	チェック内容詳細	エラー時表示メッセージ
1	経営面積	必須入力チェック	水田、普通畑、樹園地、その他の項目のうちいずれも未入力の場合、エラー	・ (1) 農業経営の概況／経営面積のうちいずれかを入力してください
2	経営面積	必須入力チェック	水田、普通畑、樹園地、その他の項目のうちいずれも0の場合、エラー	・ (1) 農業経営の概況／経営面積のうちいずれかに0より大きい数値を入力してください

(2) 作物別生産方式導入計画

No.	項目名	チェック内容	チェック内容詳細	エラー時表示メッセージ
2	生産方式導入作物数	必須入力チェック	生産方式導入作物数が未入力の場合、または数値が入力されていない場合にエラー	・ (2) 作物別生産方式導入計画の生産方式導入作物数に数値を入力してください。
3	作物名	必須入力チェック	連番1の作物について、作物名が未入力の場合、エラー	・ (2) 作物別生産方式導入計画の連番1は必須入力です。
		作物数不一致チェック	連番2以降、「生産方式導入作物数」で指定した作物数の入力連番に、作物名が未入力の場合、エラー	・ (2) 作物別生産方式導入計画で、表示中の行には作物名と面積を記入してください。
4	導入面積／生産方式導入	目標年度面積チェック	目標年度（5年目）にて、生産方式導入の面積が、作付全体の面積の5割に満たない場合、エラー	・ (2) 作物別生産方式導入計画で、目標年の生産方式導入面積が5割に達していません。 連番：XXX、作物名：XXXXXXXXXX、作型・品種：XXXXXXXXXX ※連番、作物名、作型・品種はそれぞれエラーのあった行の情報を表示します。

【1】画面説明
 <画面イメージ>

計画・目標の入力 (第2号様式)

1 持続性の高い農業生産方式の導入に関する目標

(3) 生産方式の内容

作物名	001: 水稲	作型 品種名	
①		②	
収量 (kg/10a) ③	現状	目標	

有機質資材施用技術					
技術名	使用有無	資材の使用の量・回数		使用の目安	
1 堆きゅう肥等の投入	④ <input type="checkbox"/>	資材の施用量 (t/10a) ⑤	現状	<input type="checkbox"/> 全量	表示 文言 ⑩ 堆きゅう肥 1.0t/10a以上 稲ワラ全量施込み 麦稈全量施込み 緑肥全量施込み
2 稲ワラ・麦稈の施込み	<input type="checkbox"/>		目標	<input type="checkbox"/> 全量	
3 緑肥作物利用技術	<input type="checkbox"/>	窒素投入量 (kgN/10a) ⑥	現状		
4 草生利用有機物還元	<input type="checkbox"/>		目標		

化学肥料低減技術					
技術名	使用有無	資材の使用の量・回数		使用の目安	
5 局所施肥技術	<input type="checkbox"/>	化学肥料由来窒素成分 (kgN/10a) ⑦	現状		表示 文言 化学肥料由来窒素成分量 kg/10a以下 コシヒカリ 8 (7) ヒノヒカリ他? (8) 収?好?等 8 (10) ○ 内数字: 肥料調節型肥料施用の場合
6 肥料調節型肥料施用技術	<input type="checkbox"/>		目標		
7 有機質肥料施用技術	<input type="checkbox"/>	総窒素成分 (kgN/10a) ⑧	現状		
8 灌水同時施肥技術	<input type="checkbox"/>		目標		

化学農薬低減技術					
技術名	使用有無	技術名	使用有無	資材の使用の量・回数	
9 温湯種子消毒技術	<input type="checkbox"/>	28 深水栽培技術	<input type="checkbox"/>	化学農薬使用回数 (回) ⑨	現状
10 機械除草技術	<input type="checkbox"/>	29 マルノハナバチ利用技術	<input type="checkbox"/>		目標
11 除草用動物利用技術	<input type="checkbox"/>	30 移植栽培技術	<input type="checkbox"/>	使用の目安	
12 生物農薬利用技術	<input type="checkbox"/>	31 循環ファン利用技術	<input type="checkbox"/>	表示 文言 化学農薬使用回数 (成分使用回数) 18回以下	
13 対抗植物利用技術	<input type="checkbox"/>	32 遮刈 (深刈) 整枝技術	<input type="checkbox"/>		
14 振抗性品種栽培技術	<input type="checkbox"/>	33 高設育苗栽培技術	<input type="checkbox"/>		
15 台木利用技術	<input type="checkbox"/>	34 地表面残さ焼却技術	<input type="checkbox"/>		
16 太陽熱利用土壌消毒技術	<input type="checkbox"/>	35 作付前灌水技術	<input type="checkbox"/>		
17 熱水・蒸気土壌消毒技術	<input type="checkbox"/>				
18 反射資材利用技術	<input type="checkbox"/>				
19 色彩粘着トラップ技術	<input type="checkbox"/>				
20 黄色蛍光灯利用技術	<input type="checkbox"/>				
21 紫外線除去フィルム利用技術	<input type="checkbox"/>				
22 雨よけ栽培技術	<input type="checkbox"/>				
23 トンネル栽培技術	<input type="checkbox"/>				
24 防虫ネット利用技術	<input type="checkbox"/>				
25 袋かけ栽培技術	<input type="checkbox"/>				
26 フェロモン誘引利用技術	<input type="checkbox"/>				
27 マルチ栽培技術	<input type="checkbox"/>				

⑪ 次へ

<画面説明>

エコファーマー申請書「第2号様式」のうち、2ページ目の情報を入力するシートです。前の入力(「第2号様式」の1ページ目)で入力した作物数と同じ数だけ入力シートが作成されますので、それぞれに対して入力を行ってください。

【2】項目説明
 (3) 生産方式の内容

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
1	作物名	-	【自動設定項目】	前の入力(「第2号様式」の1ページ目)で選択した作物名を自動設定します。
2	作型品種名	-	【自動設定項目】	前の入力(「第2号様式」の1ページ目)で入力した作型品種名を自動設定します。
3	収量	※	半角数字: 99,999 最小値: 0	当該作物に対する収量を現状値/目標値それぞれ入力してください。単位(kg/10a)。目標値のみ必須入力です。
4	技術名/使用有無	※	チェックボックス	当該技術の使用有無をチェックしてください。使用する場合は■、使用しない場合は□です。当該作物で使用できない技術は背景がグレーとなり、選択できません。
5	資材の施用量	○	チェックボックス または 半角数字: 999.9 最小値: 0	当該作物の資材の施用量を現状値/目標値それぞれ入力してください。全量使用の場合は「全量」にチェックを入れてください。全量使用でない場合は数値を入力してください。
6	窒素投入量	-	半角数字: 999.9 最小値: 0	当該作物の窒素投入量を入力してください。
7	化学肥料由来窒素成分	○	半角数字: 999.9 最小値: 0	当該作物の化学肥料由来窒素成分量を入力してください。
8	総窒素成分	○	半角数字: 999.9 最小値: 0	当該作物の化学肥料由来窒素成分量を入力してください。
9	化学農薬使用回数	○	半角数字: 999.9 最小値: 0	当該作物の化学農薬使用回数を入力してください。
10	使用の目安	-	【自動設定項目】	当該作物の申請書に出力する使用の目安を、有機質資材施用技術、化学肥料低減技術、化学農薬低減技術それぞれに対して表示します。
11	「次へ」ボタン	-	-	本シート内のエラーチェックを行った上で、エラーがあればエラーを表示をします。エラーがない場合は、次のシートに移動します。

4. 入力画面	2-2. 計画・目標の入力（第2号様式2ページ目）	改訂日	2014/3/25	改訂者	八太
---------	---------------------------	-----	-----------	-----	----

【3】エラーチェック

本シートでは以下のエラーが無いかチェックを行います。
エラーメッセージが表示された場合は、その内容にそって入力内容を修正して下さい。

No.	項目名	チェック内容	チェック内容詳細	エラー時表示メッセージ
1	収量	必須入力チェック	目標値が未入力の場合、エラー	・収量（目標）は必須入力です。
2	技術名／使用有無	必須入力チェック	以下それぞれ3つの技術のグループそれぞれについて1つもチェックが無い場合、エラー 有機質資材施用技術 化学肥料低減技術 化学農薬低減技術	・有機質資材施用技術のいずれかの技術にチェックを入れてください。 ・化学肥料低減技術のいずれかの技術にチェックを入れてください。 ・化学農薬低減技術のいずれかの技術にチェックを入れてください。
3	資材の施用量	必須入力チェック	未入力の場合、エラー 「全量」のチェックON（■）または、数値の入力いずれかを必須入力とする 現状値／目標値ともにチェック対象	・有機質資材施用技術の資材の施用量（現状）は必須項目です。 ・有機質資材施用技術の資材の施用量（目標）は必須項目です。
		たい肥全量チェック	使用する技術が「堆きゅう肥の投入」のみチェックON（■）で、かつ、たい肥使用量（目標）の「全量」をチェックONにした場合にエラー	・有機質資材施用技術のうち「堆きゅう肥等の投入」のみを選択した場合、資材の施用量（目標）の「全量」は選択できません。
4	化学肥料由来窒素成分	必須入力チェック	未入力の場合、エラー 現状値／目標値ともにチェック対象	・化学肥料低減技術の化学肥料由来窒素成分（現状）は必須項目です。 ・化学肥料低減技術の化学肥料由来窒素成分（目標）は必須項目です。
		大小チェック	目標値が現状値を上回る場合、エラー ※一致の場合はエラーとしない	・化学肥料低減技術の化学肥料由来窒素成分（目標）は、（現状）を上回ってはいけません。
5	総窒素成分	必須入力チェック	未入力の場合、エラー 現状値／目標値ともにチェック対象	・化学肥料低減技術の総窒素成分（現状）は必須項目です。 ・化学肥料低減技術の総窒素成分（目標）は必須項目です。
6	化学農薬使用回数	必須入力チェック	未入力の場合、エラー 現状値／目標値ともにチェック対象	・化学農薬低減技術の化学農薬使用回数（現状）は必須項目です。 ・化学農薬低減技術の化学農薬使用回数（目標）は必須項目です。
		大小チェック	目標値が現状値を上回る場合、エラー ※一致の場合はエラーとしない	・化学農薬低減技術の化学農薬使用回数（目標）は、（現状）を上回ってはいけません。

【4】注意メッセージの表示

本シートでは特定の項目に対して入力を行った際に、入力内容に対して以下の表のとおり確認と注意メッセージの表示を行います。
なお、表示された注意メッセージについてはエラーではありませんので、入力内容を修正しなくても申請書作成を続けることができます。

No.	入力対象の項目名	確認内容詳細	注意メッセージ
1	化学肥料由来窒素成分（目標） 肥効調節型肥料施用技術	当該作物の化学肥料由来窒素成分量に基準値がある場合、その基準値を入力値が超えていないかどうかをチェックする 作物に対して「通常／肥効調節」双方の基準値がある場合は、技術「肥厚調節型肥料施用技術」のチェック有無により使用する基準値を変更する 肥効調節型肥料施用技術「□」の場合 →通常の基準値を使用する 肥効調節型肥料施用技術「■」の場合 →肥効調節の基準値を使用する	・化学肥料低減技術の化学肥料由来窒素成分（目標）が、基準値を上回っています。 （目標値：XXX.X、基準値：XXX.X） ・化学肥料低減技術の化学肥料由来窒素成分（目標）が、基準値を上回っています。 （目標値：XXX.X、基準値（肥効調節）：XXX.X）
2	化学農薬使用回数（目標）	当該作物の化学農薬使用回数に基準値がある場合、その基準値を入力値が超えていないかどうかをチェックする	・化学農薬低減技術の化学農薬使用回数（目標）が、基準値を上回っています。 （目標値：XXX.X、基準値：XXX.X）

基準値については資料1参照

【1】画面説明
 <画面イメージ>

計画・目標の入力 (第2号様式)

1 持続性の高い農業生産方式の導入に関する目標

(4) 農業所得の目標

	現状 (千円)	目標 (千円)
生産方式導入作物 ①	0	
その他の作物 ②	0	0
合計 ③	0	0

2 1の目標を達成するために必要な施設の設置、機械の購入その他の措置に関する事項

(1) たい肥等利用計画

	現状			目標		
	たい肥等有機質資材の種類 ④	自給 (t)	購入 (t)	たい肥等有機質資材の種類	自給 (t)	購入 (t)
1		⑤				
2						
3						
				合計	⑦ 0.0	-
				導入目安	⑧ 0.1	様式2-1, 2-2からの計算値

(2) 機械・施設整備計画

	種類・能力等 ⑨	現状		計画	
		台数 ⑩	台数 ⑪	台数	実施時期 ⑫
1					
2					
3					

(3) 資金調達計画

	資金使途 ⑬	資金種類 ⑭	金額 (千円) ⑮	償還条件等 ⑯	実施時期 ⑰	備考 ⑱
1						
2						
3						
		合計額	0			

3 その他

⑲

申請書を作成する

⑳

<画面説明>

エコファーマー申請書「第2号様式」のうち、3ページ目の情報を入力するシートです。本シート入力終了時、「申請書を作成する」ボタンをクリックすると入力がすべて終了し、申請書の印刷・保存を行います。

【2】項目説明

(4) 農業所得の目標

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
1	生産方式導入作物	※	半角数字：999,999 最小値：0または1	生産方式導入作物の所得（現状値／目標値）を入力してください。現状は最小値が0です。目標は最小値が1で必須入力項目となります。
2	その他作物	-	半角数字：999,999 最小値：0	生産方式導入作物以外の作物の所得（現状値／目標値）を入力してください。
3	合計	-	【自動設定項目】	所得合計額（現状値／目標値）を表示します。

(1) たい肥等利用計画

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
4	たい肥等の有機質資材の種類（現状／目標）	※	15文字	利用するたい肥の名称を一般名で入力してください。目標（自給／購入）を入力した場合は、1行目のみ必須入力です。
5	自給、購入（現状／目標）	-	半角数値：999.9	たい肥の現状使用量（自給分／購入分）をそれぞれまとめて入力してください。
6	備考（現状／備考）	-	15文字	たい肥の入手先等、備考情報を入力してください。
7	合計	-	【自動設定項目】	自給、購入の目標値の和を表示します。
8	導入目安	-	【自動設定項目】	様式2-1と2-2の入力内容から計算した堆肥の使用料を表示します。

(2) 機械・施設整備計画

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
9	種類・能力等	-	15文字	機械・施設の名称を一般名で入力してください。
10	現状（台数）	-	半角数値：999	機械・施設の現状の台数を入力してください。
11	計画（台数）	-	半角数値：999	機械・施設の計画台数を入力してください。
12	計画（実施時期）	-	6文字	機械・施設の導入時期を入力してください。

(3) 資金調達計画

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
13	資金使途	-	15文字	調達資金の資金使途を入力してください。
14	資金種類	-	15文字	調達資金の資金種類を入力してください。
15	金額	-	半角数値：9,999,999	調達資金額を入力してください。
16	償還条件等	-	15文字	調達資金の償還条件を入力してください。
17	実施時期	-	6文字	資金調達時期を入力してください。
18	備考	-	30文字	資金調達についての備考を入力してください。

その他

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
19	その他	-	100文字	申請書に出力するその他記載事項を入力してください。
20	「申請書を作成する」ボタン	-	-	・当該シートのエラーチェック ・入力済み各シートの再エラーチェックを行い、エラーがあれば表示します。エラーが無い場合、申請書の印刷・保存を行います。

4. 入力画面	2-3. 計画・目標の入力（第2号様式3ページ目）	改訂日	2014/3/25	改訂者	八太
---------	---------------------------	-----	-----------	-----	----

【3】エラーチェック

本シートでは以下のエラーが無いかチェックを行います。
エラーメッセージが表示された場合は、その内容にそって入力内容を修正して下さい。

No.	項目名	チェック内容	チェック内容詳細	エラー時表示メッセージ
1	たい肥等の有機質資材の種類	入力関連チェック	目標（自給、購入）いずれかの入力が行われている場合で、かつ本項目の1行目に入力が行われていない場合はエラーとする。	・2（1）たい肥等利用計画の目標量を入力した場合は、種類(1)の入力も行ってください。

【4】注意メッセージの表示

本シートでは特定の項目に対して入力を行った際に、入力内容に対して以下の表のとおり確認と注意メッセージの表示を行います。
なお、表示された注意メッセージについてはエラーではありませんので、入力内容を修正しなくても申請書作成を続けることができます。

No.	入力対象の項目名	確認内容詳細	注意メッセージ
1	目標（自給、購入）	<p>第2号様式の1ページ目に印刷した目標年度の面積と、2ページ目に印刷したたい肥の施用量が、3ページ目（本シート）に入力した「自給、購入」の和と一致しない場合に注意。「自給、購入」の値ともに未入力の場合は、チェックを行わない。</p> <p>(式)</p> <p>1シート目の目標年度面積（作物毎） … a とする 2シート目のたい肥施用量（作物毎） … b とする 3ページ目のたい肥の使用量合計 … c とする</p> <p>1作物に対する使用量 = (a * b / 10) ※「b」が10アールに対する値のため、10で割る 上記「1作物に対する使用量」を全作物について求め、和を求める … d とする (c ≠ d) の場合、メッセージ表示対象とする。</p>	たい肥等利用計画の目標量が、導入作物の作付面積・使用たい肥量から計算した量と異なります。目標量を確認し、必要があれば修正してください。

【1】画面説明
＜画面イメージ＞

実施状況入力 (第4号様式)

1 持続性の高い農業生産方式の導入に関する目標

(1) 農業経営の概況

① 経営面積 (a)	水田		② 労働力人数 (農業従事者)	男性	
	普通畑			男性うち専従者	
	樹園地			女性	
	その他			女性うち専従者	
	合計	0.0			

(2) 作物別生産方式導入計画

生産方式導入作物数 * ③ ※本項目に数値を入力すると、下記表の行数が変更されます (入力可能数: 1~100)

連番	生産方式導入作物	導入面積 (a)	前回目標	実績	今回目標
④ 1	作物名 * ⑤	生産方式導入 * ⑦			
	作型品種名 * ⑥	作付全体 * ⑧			
生産方式導入作物小計 ⑨		生産方式導入	0.0	0.0	0.0
		作付全体	0.0	0.0	0.0
その他作物 ⑩		作付全体			
合計 ⑪		作付全体	0.0	0.0	0.0

次へ ⑫

＜画面説明＞

エコファーマー申請書「第4号様式」のうち、1ページ目の情報を入力するシートです。作物の同時申請数上限は100作物で、同一作物の重複も可能です。本ページで入力した作物数に応じて、「第4号様式」の2ページ目の入力数および出力ページ数が異なります。

【2】項目説明

(1) 農業経営の概況

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
1	経営面積	○	半角数字: 99,999.9 最小値: 1	水田、普通畑、樹園地、その他の経営面積を (a) 単位で入力してください。いずれか1つ以上は必ず入力が必要です。合計欄は自動計算。
2	労働人数 (農業従事者)	—	半角数字: 9,999 最小値: 0	農業従事者数を男女、および総数/専従者の区分で入力してください。

(2) 作物別生産方式導入計画

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
3	生産方式導入作物数	○	半角数字: 999 最小値: 1 最大値: 100	申請する作物の作物数を入力してください。この項目の入力により、画面内の作物入力欄が増減します。
4	連番	—	【初期表示項目】	生産方式を導入する作物を入力する順番を表示します。
5	作物名	※	リストより選択	生産方式導入作物の作物名をリストより選択して入力してください。1作物目 (連番1) も含め、表示している欄全て必須入力です。
6	作型品種名	—	20文字	作物の作型や品種名を入力してください。文字数制限内であれば自由入力です。
7	導入面積/生産方式導入	※	半角数字: 9,999.9 最小値: 0	生産方式を導入した作物の生産予定面積を前回目標、実績、今回目標の順に入力してください。1作物目 (連番1) も含め、表示している欄全て必須入力です。今回目標は、作付全体面積の5割以上の面積でなければなりません。
8	導入面積/作付全体	※	半角数字: 9,999.9 最小値: 0	生産方式を導入する作物について、生産方式導入有無に関わらない全体の作付け面積を入力。1作物目 (連番1) も含め、表示している欄全て必須入力です。
9	生産方式導入作物小計	—	【自動設定項目】	生産方式を導入する作物全体の導入面積を、生産方式導入有無にかかわらず表示します。
10	その他作物	—	半角数字: 9,999 最小値: 0	生産方式を導入しない作物の作付け面積を、前回目標、実績、今回目標の順に入力してください。
11	合計	—	【自動設定項目】	生産方式導入作物 (作付全体) と、その他作物の作付全体面積の和を表示します。
12	「次へ」ボタン	—	—	本シート内のエラーチェックを行った上で、エラーがあればエラーを表示をします。エラーがない場合は、次のシートに移動します。

4. 入力画面	3-1. 実施状況入力 (第4号様式1ページ目)	改訂日	2014/7/4	改訂者	八太
---------	--------------------------	-----	----------	-----	----

【3】エラーチェック

本シートでは以下のエラーが無いかチェックを行います。
 エラーメッセージが表示された場合は、その内容にそって入力内容を修正して下さい。

(1) 農業経営の概況

No.	項目名	チェック内容	チェック内容詳細	エラー時表示メッセージ
1	経営面積	必須入力チェック	水田、普通畑、樹園地、その他の項目のうちいずれも未入力の場合、エラー	・ (1) 農業経営の概況/経営面積のうちいずれかを入力してください
2	経営面積	必須入力チェック	水田、普通畑、樹園地、その他の項目のうちいずれも0の場合、エラー	・ (1) 農業経営の概況/経営面積のうちいずれかに0より大きい数値を入力してください

(2) 作物別生産方式導入計画

No.	項目名	チェック内容	チェック内容詳細	エラー時表示メッセージ
2	生産方式導入作物数	必須入力チェック	生産方式導入作物数が未入力の場合、または数値が入力されていない場合にエラー	・ (2) 作物別生産方式導入計画の生産方式導入作物数に数値を入力してください。
3	作物名	必須入力チェック	連番1の作物について、作物名が未入力の場合、エラー	・ (2) 作物別生産方式導入計画の連番1は必須入力です。
		作物数不一致チェック	連番2以降、「生産方式導入作物数」で指定した作物数の入力連番に、作物名が未入力の場合、エラー	・ (2) 作物別生産方式導入計画で、表示中の行には作物名と面積を記入してください。
4	導入面積/生産方式導入	目標年度面積チェック	今回の目標年度にて、生産方式導入の面積が、作付全体の面積の5割に満たない場合、エラー	・ (2) 作物別生産方式導入計画で、目標年の生産方式導入面積が5割に達していません。 連番:XXX、作物名:XXXXXXXXXX、作型・品種:XXXXXXXXXX ※連番、作物名、作型・品種はそれぞれエラーのあった行の情報を表示する。

【1】画面説明
 <画面イメージ>

実施状況入力 (第4号様式)
 1 持続性の高い農業生産方式の導入に関する目標
 (3) 生産方式の内容

作物名	124: いぐさ	作型 品種名	
収量 (kg/10a) ③	前回目標	実績 (現状)	今回目標

有機質資材施用技術				
技術名	前回目標	実績 (現状)	今回目標	使用の目安
1 堆きゅう肥等の投入	④ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	表示 文言 堆きゅう肥 1t/10a以上 稲ワラ全量曲込み 緑肥全量曲込み
2 稲ワラ・麦稈の曲込み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3 緑肥作物利用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4 草生利用有機物還元	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
資材の使用の量・回数				
資材の施用量 (t/10a) ⑤	<input type="checkbox"/> 全量	<input type="checkbox"/> 全量	<input type="checkbox"/> 全量	
窒素投入量 (kgN/10a) ⑥				

化学肥料低減技術				
技術名	前回目標	実績 (現状)	今回目標	使用の目安
5 局所施肥技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	表示 文言 化学肥料由来窒素成分量 kg/10a以下 34(39) ○ 内数字: 肥料調節型肥料施用の場合
6 肥料調節型肥料施用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7 有機質肥料施用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8 灌水同時施肥技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
資材の使用の量・回数				
化学肥料由来窒素成分 (kgN/10a) ⑦				
総窒素成分 (kgN/10a) ⑧				

化学農薬低減技術							
技術名	前回目標	実績 (現状)	今回目標	技術名	前回目標	実績 (現状)	今回目標
9 温湯種子消毒技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	28 深水栽培技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 樹幹消毒技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	29 マルハナバチ利用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 除草用動物利用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	30 移植栽培技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 生物農薬利用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	31 循環ファン利用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13 対抗植物利用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	32 澁刈 (深刈) 整枝技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14 抵抗性品種栽培技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	33 高設育苗栽培技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15 台木利用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	34 地表面残さ焼却技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16 太陽熱利用土壌消毒技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	35 作付前灌水技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17 熱水・蒸気土壌消毒技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用の目安			
18 反射資材利用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	表示 文言 化学農薬使用回数 (成分使用回数) 11回以下			
19 色粘着トラップ技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
20 黄色蛍光灯利用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
21 紫外線除去フィルム利用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
22 雨よけ栽培技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
23 トンネル栽培技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
24 防虫ネット利用技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
25 袋かけ栽培技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
26 フェロモン誘引技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
27 マルチ栽培技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
資材の使用の量・回数							
化学農薬使用回数 (回) ⑨							

⑪ 次へ

<画面説明>

エコファーマー申請書「第4号様式」のうち、2ページ目の情報を入力するシートです。
 前の入力(「第4号様式」の1ページ目)で入力した作物数と同じ数だけシートを作成
 するので、全シートに対して入力を行って下さい。

【2】項目説明
 (3) 生産方式の内容

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
1	作物名	-	【自動設定項目】	前の入力(「第4号様式」の1ページ目)で 選択した作物名を自動設定します。
2	作型品種名	-	【自動設定項目】	前の入力(「第4号様式」の1ページ目)で 入力した作型品種名を自動設定します。
3	収量	※	半角数字: 99, 999 最小値: 0	当該作物に対する収量を前回目標、実績(現状) 今回目標それぞれ入力してください。 実績と今回目標は必須入力です。
4	技術名/使用有無	※	チェックボックス	当該技術の使用有無をチェックしてください。 使用する場合は■、使用しない場合は□です。 当該作物で使用できない技術は背景がグレーと なり、選択できません。
5	資材の施用量	○	チェックボックス または 半角数字: 999. 9 最小値: 0	当該作物の資材の施用量を現状値/目標値それ ぞれ入力してください。 全量使用の場合は「全量」にチェックを入れて ください。 全量使用でない場合は数値を入力してください。
6	窒素投入量	-	半角数字: 999. 9 最小値: 0	当該作物の窒素投入量を入力してください。
7	化学肥料由来窒素 成分	○	半角数字: 999. 9 最小値: 0	当該作物の化学肥料由来窒素成分量を入力して ください。
8	総窒素成分	○	半角数字: 999. 9 最小値: 0	当該作物の化学肥料由来窒素成分量を入力して ください。
9	化学農薬使用回数	○	半角数字: 999. 9 最小値: 0	当該作物の化学農薬使用回数を入力してくださ い。
10	使用の目安	-	【自動設定項目】	当該作物の申請書に出力する使用の目安を、 有機質資材施用技術 化学肥料低減技術 化学農薬低減技術 それぞれに対して表示します。
11	「次へ」ボタン	-	-	本シート内のエラーチェックを行った上で、 エラーがあればエラーを表示をします。 エラーがない場合は、次のシートに移動します。

4. 入力画面	3-2. 実施状況入力 (第4号様式2ページ目)	改訂日	2014/3/25	改訂者	八太
---------	--------------------------	-----	-----------	-----	----

【3】エラーチェック

本シートでは以下のエラーが無いかチェックを行います。
エラーメッセージが表示された場合は、その内容にそって入力内容を修正して下さい。

No.	項目名	チェック内容	チェック内容詳細	エラー時表示メッセージ
1	収量	必須入力チェック	実績(現状)または今回目標が未入力の場合 エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・収量(実績(現状))は必須入力です。 ・収量(目標)は必須入力です。
2	技術名/使用有無	必須入力チェック	以下それぞれ6つの技術のグループそれぞれについて1つもチェックが無い場合、エラー 有機質資材施用技術(実績) 有機質資材施用技術(今回目標) 化学肥料低減技術(実績) 化学肥料低減技術(今回目標) 化学農薬低減技術(実績) 化学農薬低減技術(今回目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・有機質資材施用技術(実績(現状))のいずれかの技術にチェックを入れてください。 ・有機質資材施用技術(今回目標)のいずれかの技術にチェックを入れてください。 ・化学肥料低減技術(実績(現状))のいずれかの技術にチェックを入れてください。 ・化学肥料低減技術(今回目標)のいずれかの技術にチェックを入れてください。 ・化学農薬低減技術(実績(現状))のいずれかの技術にチェックを入れてください。 ・化学農薬低減技術(今回目標)のいずれかの技術にチェックを入れてください。
3	資材の施用量	必須入力チェック	未入力の場合、エラー 「全量」のチェックON(■)または、数値の入力いずれかを必須入力とする 実績/今回目標がチェック対象	<ul style="list-style-type: none"> ・有機質資材施用技術の資材の施用量(実績(現状))は必須項目です。 ・有機質資材施用技術の資材の施用量(今回目標)は必須項目です。
		たい肥全量チェック	使用する技術が「堆きゅう肥の投入」のみ チェックON(■)で、かつ、たい肥使用量 (目標)の「全量」をチェックONにした 場合にエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・有機質資材施用技術のうち「堆きゅう肥等の投入」のみを選択した場合、「全量」は選択できません。(前回目標) ・有機質資材施用技術のうち「堆きゅう肥等の投入」のみを選択した場合、「全量」は選択できません。(実績(現状)) ・有機質資材施用技術のうち「堆きゅう肥等の投入」のみを選択した場合、「全量」は選択できません。(今回目標)
4	化学肥料由来窒素成分	必須入力チェック	未入力の場合、エラー 実績/今回目標がチェック対象	<ul style="list-style-type: none"> ・化学肥料低減技術の化学肥料由来窒素成分(実績(現状))は必須項目です。 ・化学肥料低減技術の化学肥料由来窒素成分(今回目標)は必須項目です。
		大小チェック	目標値が現状値を上回る場合、エラー ※一致の場合はエラーとしない	・化学肥料低減技術の化学肥料由来窒素成分(今回目標)は、(実績(現状))を上回っては いけません。
5	総窒素成分	必須入力チェック	未入力の場合、エラー 実績/今回目標がチェック対象	<ul style="list-style-type: none"> ・化学肥料低減技術の総窒素成分(実績(現状))は必須項目です。 ・化学肥料低減技術の総窒素成分(今回目標)は必須項目です。
6	化学農薬使用回数	必須入力チェック	未入力の場合、エラー 実績/今回目標がチェック対象	<ul style="list-style-type: none"> ・化学農薬低減技術の化学農薬使用回数(実績(現状))は必須項目です。 ・化学農薬低減技術の化学農薬使用回数(今回目標)は必須項目です。
		大小チェック	目標値が現状値を上回る場合、エラー ※一致の場合はエラーとしない	・化学農薬低減技術の化学農薬使用回数(今回目標)は、(実績(現状))を上回っては いけません。

4. 入力画面	3-2. 実施状況入力（第4号様式2ページ目）	改訂日	2014/3/25	改訂者	八太
---------	-------------------------	-----	-----------	-----	----

【4】注意メッセージの表示

本シートでは特定の項目に対して入力を行った際に、入力内容に対して以下の表のとおり確認と注意メッセージの表示を行います。

なお、表示された注意メッセージについてはエラーではありませんので、入力内容を修正しなくても申請書作成を続けることができます。

No.	入力対象の項目名	確認内容詳細	注意メッセージ
1	化学肥料由来窒素成分（今回目標） 肥効調節型肥料施用技術	当該作物の化学肥料由来窒素成分量に基準値がある場合、その基準値を入力値を超えていないかどうかをチェックする 作物に対して「通常／肥効調節」双方の基準値がある場合は、技術「肥厚調節型肥料施用技術」のチェック有無により使用する基準値を変更する 肥効調節型肥料施用技術「□」の場合 →通常の基準値を使用する 肥効調節型肥料施用技術「■」の場合 →肥効調節の基準値を使用する	・化学肥料低減技術の化学肥料由来窒素成分（目標）が、基準値を上回っています。 （目標値：XXX.X、基準値：XXX.X） ・化学肥料低減技術の化学肥料由来窒素成分（目標）が、基準値を上回っています。 （目標値：XXX.X、基準値（肥効調節）：XXX.X）
2	化学農薬使用回数（今回目標）	当該作物の化学農薬使用回数に基準値がある場合、その基準値を入力値を超えていないかどうかをチェックする	・化学農薬低減技術の化学農薬使用回数（目標）が、基準値を上回っています。 （目標値：XXX.X、基準値：XXX.X）

基準値については資料1参照

【1】画面説明
 <画面イメージ>

実施状況入力 (第4号様式)

1 持続性の高い農業生産方式の導入に関する目標

(4) 農業所得の目標

	前回目標 (千円)	実績 (現状) (千円)	今回目標 (千円)
生産方式導入作物 ①			
その他の作物 ②			
合計 ③	0	0	0

2 1の目標を達成するために必要な施設の設置、機械の購入その他の措置に関する事項

(1) たい肥等利用計画

	現状			目標		
	たい肥等有機質資材の種類 ④	自給 (t) ⑤	購入 (t) ⑥	たい肥等有機質資材の種類	自給 (t)	購入 (t)
1						
2						
3						
				合計 ⑦		0.0
				導入目安 ⑧		1.0

様式4-1, 4-2からの計算値

(2) 機械・施設整備計画

	種類・能力等 ⑨	現状		計画	
		台数 ⑩	台数 ⑪	台数	実施時期 ⑫
1					
2					
3					

(3) 資金調達計画

	資金使途 ⑬	資金種類 ⑭	金額 (千円) ⑮	償還条件等 ⑯	実施時期 ⑰	備考 ⑱
1						
2						
3						
		合計額	0			

3 その他

⑲

⑳ 申請書を作成する

<画面説明>

エコファーマー申請書「第4号様式」のうち、3ページ目の情報を入力するシートです。本シート入力終了時、「申請書を作成する」ボタンをクリックすると入力がすべて終了し、申請書の印刷・保存を行います。

【2】項目説明

(4) 農業所得の目標

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
1	生産方式導入作物	※	半角数字：999,999 最小値：0または1	生産方式導入作物の所得 (現状値/目標値) を入力してください。現状は最小値が0です。目標は最小値が1で必須入力項目となります。
2	その他作物	-	半角数字：999,999 最小値：0	生産方式導入作物以外の作物の所得 (現状値/目標値) を入力してください。
3	合計	-	【自動設定項目】	所得合計額 (現状値/目標値) を表示します。

(1) たい肥等利用計画

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
4	たい肥等の有機質資材の種類 (現状/目標)	※	15文字	利用するたい肥の名称を一般名で入力してください。目標 (自給/購入) を入力した場合は、1行目のみ必須入力です。
5	自給、購入 (現状/目標)	-	半角数値：999.9	たい肥の現状使用量 (自給分/購入分) をそれぞれまとめて入力してください。
6	備考 (現状/備考)	-	15文字	たい肥の入手先等、備考情報を入力してください。
7	合計	-	【自動設定項目】	自給、購入の目標値の和を表示します。
8	導入目安	-	【自動設定項目】	様式2-1と2-2の入力内容から計算した堆肥の使用料を表示します。

(2) 機械・施設整備計画

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
9	種類・能力等	-	15文字	機械・施設の名称を一般名で入力してください。
10	現状 (台数)	-	半角数値：999	機械・施設の現状の台数を入力してください。
11	計画 (台数)	-	半角数値：999	機械・施設の計画台数を入力してください。
12	計画 (実施時期)	-	6文字	機械・施設の導入時期を入力してください。

(3) 資金調達計画

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
13	資金使途	-	15文字	調達資金の資金使途を入力してください。
14	資金種類	-	15文字	調達資金の資金種類を入力してください。
15	金額	-	半角数値：9,999,999	調達資金額を入力してください。
16	償還条件等	-	15文字	調達資金の償還条件を入力してください。
17	実施時期	-	6文字	資金調達時期を入力してください。
18	備考	-	30文字	資金調達についての備考を入力してください。

その他

No.	項目名	必須	入力制限	仕様
19	その他	-	100文字	申請書に出力するその他記載事項を入力してください。
20	「申請書を作成する」ボタン	-	-	・当該シートのエラーチェック ・入力済み各シートの再エラーチェックを行い、エラーがあれば表示します。エラーが無い場合、申請書の印刷・保存を行います。

4. 入力画面	3-3. 実施状況入力 (第4号様式3ページ目)	改訂日	2014/3/25	改訂者	八太
---------	--------------------------	-----	-----------	-----	----

【3】エラーチェック

本シートでは以下のエラーが無いかチェックを行います。
 エラーメッセージが表示された場合は、その内容にそって入力内容を修正して下さい。

No.	項目名	チェック内容	チェック内容詳細	エラー時表示メッセージ
1	たい肥等の有機質資材の種類	入力関連チェック	目標 (自給、購入) いずれかの入力が行われている場合で、かつ本項目の1行目に入力が行われていない場合はエラーとする。	・2 (1) たい肥等利用計画の目標量を入力した場合は、種類(1)の入力も行ってください。

【4】注意メッセージの表示

本シートでは特定の項目に対して入力を行った際に、入力内容に対して以下の表のとおり確認と注意メッセージの表示を行います。
なお、表示された注意メッセージについてはエラーではありませんので、入力内容を修正しなくても申請書作成を続けることができます。

No.	入力対象の項目名	確認内容詳細	注意メッセージ
1	目標 (自給、購入)	第2号様式の1ページ目に印刷した目標年度の面積と、2ページ目に印刷したたい肥の施用量が、3ページ目 (本シート) に入力した「自給、購入」の和と一致しない場合に注意。 「自給、購入」の値ともに未入力の場合は、チェックを行わない。 (式) 1シート目の目標年度面積 (作物毎) … a とする 2シート目のたい肥施用量 (作物毎) … b とする 3ページ目のたい肥の使用量合計 … c とする 1作物に対する使用量 = $(a * b / 10)$ ※「b」が10アールに対する値のため、10で割る 上記「1作物に対する使用量」を全作物について求め、和を求める … d とする (c ≠ d) の場合、メッセージ表示対象とする。	たい肥等利用計画の目標量が、導入作物の作付面積・使用たい肥量から計算した量と異なります。目標量を確認し、必要があれば修正してください。

【1】 出力レイアウト
 <出力レイアウト>

別記第1号様式

導入計画認定申請書

平成26年2月13日

熊本県知事 様

持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律（平成11年7月28日法律第110号）に基づき、次の導入計画の認定（更新認定・変更認定）を申請します。

申請区分	新規 <input type="checkbox"/> 品目追加 <input type="checkbox"/> 更新 <input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/>		
氏名 (生年月日)	くまもと太郎 印 (昭和52年7月7日生まれ)		
住所	熊本県●●市●●町1-2-3 ●●●●マンション999		
電話番号	096-999-9999 (携帯) 090-9999-9999	認定番号	99999
認定農業者の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
備考 (所属部会等)	所属部会等記載		

※ 該当する項目にチェック□(又は■)すること

※ 認定農業者とは、農業経営基盤強化促進法に基づく計画の認定を受けた農業者

【1】 出カレイアウト
 <出カレイアウト>
 ● 1 ページ目

別記第2号様式

持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画
 (目標：平成 33 年度)

1 持続性の高い農業生産方式の導入に関する目標
 (1) 農業経営の概況

	水田	普通畑	樹園地	その他	合計
経営面積	1 a	2 a	3 a	2 a	8 a
労働力	農業従事者 男 2 人 (うち専従者 1 人) 女 3 人 (うち専従者 1 人)				

(2) 作物別生産方式導入計画

生産方式導入作物	1年目	2年目	3年目	4年目	目標年
ソバ	3 a	3 a	4 a	4 a	5 a
	6 a	6 a	6 a	6 a	6 a
すもも	7 a	7 a	7 a	7 a	7 a
	8 a	8 a	8 a	8 a	8 a
	a	a	a	a	a
	a	a	a	a	a
	a	a	a	a	a
	a	a	a	a	a
小計	10 a	10 a	11 a	11 a	12 a
	14 a	14 a	14 a	14 a	14 a
その他作物	a	a	a	a	a
合計	14 a	14 a	14 a	14 a	14 a

※ 上段：生産方式導入面積、下段：当該作物作付全体面積を記入。

● 2 ページ目

(3) 生産方式の内容

作物名 (作型・品種名)	ソバ ()	
取量	(現状)	(目標)
	111 kg/10a	222 kg/10a
有機質資材施用技術	資材の使用の量・回数	使用の目安
・堆きゅう肥等の投入 <input checked="" type="checkbox"/>	資材の施用量	堆きゅう肥 2t/10a以上 緑肥全量糞込み
・緑肥作物利用技術 <input type="checkbox"/>	(現状) 33.0 t/10a (目標) 33.0 t/10a	
	窒素投入量	
	(現状) 2.0 kgN/10a (目標) 2.0 kgN/10a	
化学肥料低減技術	資材の使用の量・回数	使用の目安
・有機質肥料施用技術 <input checked="" type="checkbox"/>	化学肥料由来窒素成分	化学肥料由来窒素成分量 kg/10a以下
	(現状) 2.0 kgN/10a (目標) 2.0 kgN/10a	2.1
	総窒素成分	
	(現状) 1.0 kgN/10a (目標) 1.0 kgN/10a	
化学農薬低減技術	資材の使用の量・回数	使用の目安
・機械除草技術 <input checked="" type="checkbox"/>	化学農薬使用回数 (成分使用回数)	0回
・生物農薬利用技術 <input type="checkbox"/>		
・対抗植物利用技術 <input type="checkbox"/>		
	化学農薬使用回数	
	(現状) 0.0 回 (目標) 0.0 回	

※ 導入する技術項目にチェック□ (又は■) を入れ、必要事項を記入。
 ※ 品目が複数の場合は、品目ごとに作成。

● 3 ページ目

（4）農業所得の目標

	現状	目標
生産方式導入作物	1,234 千円	2,345 千円
その他の作物	400	1,000
合計	1,634	3,345

2 1の目標を達成するために必要な施設の設置、機械の購入その他の措置に関する事項

（1）たい肥等利用計画

	たい肥等有機質資材の種類	自給	購入	備考（入手先等）
現状	牛ふんおがくずたい肥	12 t	24 t	●●農場
目標	牛ふんおがくずたい肥	20 t	30 t	●●農場

（2）機械・施設整備計画

現状		計画		
種類・能力等	台数	種類・能力等	台数	実施時期
●●トラクター	1	●●トラクター	2	平成30年

（3）資金調達計画

資金用途	資金種類	金額 (千円)	償還条件等	実施時期	備考
●●トラクター	融資	2,345	5年後	平成28年	備考コメント等の記載
合計		2,345			

3 その他

その他記載

【添付資料】

- 1 持続性の高い農業生産方式を導入する作物を栽培するほ場の位置を判別することができる地図（各ほ場で栽培する作物名が分かるもの）
- 2 持続性の高い農業生産方式を導入する作物を栽培するほ場の土壌診断結果

【1】 出カレイアウト
 <出カレイアウト>
 ● 1 ページ目

別記第4号様式

持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画及び実施状況報告
 (目標：平成 22 年度)

1 持続性の高い農業生産方式の導入に関する目標
 (1) 農業経営の概況

	水田	普通畑	樹園地	その他	合計
経営面積	2 a	a	a	a	2 a
労働力	農業従事者 男 人 (うち専従者 人) 女 人 (うち専従者 人)				

(2) 作物別生産方式導入計画

生産方式導入作物	前回目標	実績(現状)	今回目標
なたね	1 a	1 a	2 a
	2 a	2 a	2 a
大豆	2 a	2 a	2 a
	2 a	2 a	2 a
なたね 冬作	2 a	2 a	2 a
	2 a	2 a	2 a
	a	a	a
	a	a	a
小計	5 a	5 a	6 a
	6 a	6 a	6 a
その他作物	a	a	a
合計	6 a	6 a	6 a

※ 上段：生産方式導入面積、下段：当該作物作付全体面積を記入。

● 2 ページ目

(3) 生産方式の内容

作物名(作型・品種名)	なたね (春作)			使用目安
	前回目標	実績(現状)	今回目標	
収量(kg/10a)	1	2	3	
有機質資材施用技術				
・堆きゅう肥等の投入 ・緑肥作物利用技術	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	堆きゅう肥 2t/10a以上 緑肥全量搬込み
資材の施用量(t/10a)	1.0	2.0	3.0	
窒素投入量(kgN/10a)	3.0	3.0	3.0	
化学肥料低減技術				
・局所施肥技術 ・肥効調節型肥料施用技術 ・有機質肥料施用技術	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	化学肥料由来窒素成分量 kg/10a以下 7(8) () 内数字：肥効調節型 肥料施用の場合
化学肥料由来窒素成分(kgN/10a)	2.0	2.0	2.0	
総窒素成分(kgN/10a)	2.0	2.0	2.0	
化学農薬低減技術				
・機械除草技術	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	除草剤1回削減
化学農薬使用回数(回)	4.0	4.0	4.0	

※ 導入する技術項目にチェック☐(又は■)を入れ、必要事項を記入。
 ※ 品目が複数の場合は、品目ごとに作成。

● 3 ページ目

（4）農業所得の目標

	前回目標	実績（現状）	今回目標
生産方式導入作物	111 千円	123 千円	5,555 千円
その他の作物	222	234	6,666
合計	333	357	12,221

2 1の目標を達成するために必要な施設の設置、機械の購入その他の措置に関する事項

（1）たい肥等利用計画

	たい肥等有機質資材の種類	自給	購入	備考（入手先等）
現状	牛ふんおがくずたい肥	10 t	20 t	●●ファーム
目標	牛ふんおがくずたい肥	20 t	15 t	●●ファーム

（2）機械・施設整備計画

現状		計画		
種類・能力等	台数	種類・能力等	台数	実施時期
●●トラクター	1	●●トラクター	2	平成30年

（3）資金調達計画

資金使途	資金種類	金額（千円）	償還条件等	実施時期	備考
●●トラクター	融資	9,999	融資後●年	平成25年	備考等記載
合計		0			

3 その他

その他記載

【添付資料】

- 1 持続性の高い農業生産方式を導入する作物を栽培するほ場の位置を判別することができる地図（各ほ場で栽培する作物名が分かるもの）
- 2 持続性の高い農業生産方式を導入する作物を栽培するほ場の土壌診断結果

（※使用欄）

- 当該市町村長に確認のうえ、次のとおり意見を付します。
- 本計画は、前回目標の見直しの上で作成されており、熊本県導入指針及び関係法令等に基づいた適切な内容です。
 - 本計画は、上記のような適切な内容ではなく、検討が必要です。
- {理由（必要に応じて）： }

【1】 出力レイアウト
 <出力レイアウト>
 別記第5号様式

持続性の高い農業生産方式導入農業者一覧

申請区分 新規 品目追加 更新 変更	認定番号 (既認定の場合)	氏名	申請作物名	備考 (部会名等)	作成日	目標年度
品目追加、変更 更新		くまもと太郎123	ホオズキ、クレソン		2014/2/5	平成30年
		くまもと太郎123	水稲、ホオズキ		2014/2/6	平成30年
品目追加、更新		XXXXXXXXXX0XXXX X5XXXX0XXXX5X XXXX0	麦	びこうなどとか	2014/2/10	平成30年
新規	12345678	申請者Aさん	水稲	所属無し	2014/2/12	平成30年
新規	99999991	株式会社なにがしコーポレーション999	水稲、なし	所属は無し	2014/2/12	平成30年
更新	99999991	株式会社なにがしコーポレーション999	水稲、ユズ、レザリーフファン	所属は無し	2014/2/12	平成30年
新規		あいうえおたろう	水稲		2014/2/12	平成30年
新規	11111111	あまくさしろうときさだ	水稲	所属なし	2014/2/13	平成31年
更新		12345さん	大豆、なたね		2014/2/13	平成31年
更新		12345さん	大豆、なたね		2014/2/13	平成31年

【1】 出カレイアウト
 <出カレイアウト>

様式1 (生産宣言者用)

「くまもとグリーン農業・生産宣言」申出書

平成26年7月10日

熊本県知事	様				
届出者	所在地又は住所	〒 860-0000 熊本県●●市●●町1-2-3 ●●●●マンション●●●●			
名称(個人を除く)	くまもと太郎	印			
代表者又は氏名					
生年月日	平成11年2月3日				
(追加申出の場合、既交付宣言番号: 12345)					
連絡先	電話番号: 06-999-0000	携帯番号: 090-2222-0000			
	メールアドレス:				
業種	<input checked="" type="radio"/> 1. 生産者個人 2. 生産者組織(法人及び2名以上の任意組織) <input type="radio"/> 3. 農業法人 4. その他				
宣言する生産制度	<input checked="" type="checkbox"/> エコファーマー (認定番号: 66666666) 品目: キウイフルーツ				

※ 生産履歴を必ず記載して下さい。
 ※ 生産者組織は、申出書に宛先の写し及び構成員全員の申出書又は全員が申出に同意した捺印等の捺印の写しを添付して下さい。
 ※ 特別栽培農産物の場合は、取り廻みを証明するための厚紙包装又は表示裏に記載された表示事項の写しを添付して下さい。
 ※ JAS有機農産物の場合は、登録認定書の写しを添付して下さい。
 ※ 燃料用作物の場合は、必ず「〇〇(燃料)」と併記して下さい。

【宣言の内容】 私は、熊本のきれいで豊かな地下水と自然環境を守るために、くまもとグリーン農業に積極的に取り組めます。私は、土づくりとともに、以下のことに取り組みます。

区分	取組の名称	記入欄	取組の名称	記入欄	取組の名称	記入欄
化学合成肥料の施用量を低減する技術	1 局所施肥技術	<input type="checkbox"/>	2 有機質肥料施用技術	<input checked="" type="checkbox"/>	3 肥効調節型肥料施用技術	<input type="checkbox"/>
	4 灌水同時施肥技術	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>
	5 温湯種子消毒技術	<input type="checkbox"/>	6 対抗植物利用技術	<input type="checkbox"/>	7 被覆栽培技術	<input type="checkbox"/>
	8 機械除草技術	<input checked="" type="checkbox"/>	9 抵抗性品種・台木利用技術	<input type="checkbox"/>	10 フェロモン利用技術	<input type="checkbox"/>
化学合成農薬の使用量を削減する技術	11 除草用動物利用技術	<input type="checkbox"/>	12 熱利用土壌消毒技術	<input type="checkbox"/>	13 マルチ栽培技術	<input type="checkbox"/>
	14 生物農薬利用技術	<input type="checkbox"/>	15 光利用技術	<input type="checkbox"/>	16 深水栽培(いくさ)	<input type="checkbox"/>
	17 刈りかき利用技術	<input type="checkbox"/>	18 移植栽培(ぼうれんそう)	<input type="checkbox"/>	19 循環ファン利用技術	<input type="checkbox"/>
	20 浅刈(深刈)整枝技術	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>
その他の取組	21 冬期湛水管理	<input type="checkbox"/>	22 リビングマルチ	<input type="checkbox"/>	23 カバークロップ	<input type="checkbox"/>
	24 GAP	<input type="checkbox"/>				

※ この申出書の情報(住所、電話番号及びメールアドレスを除く)及び宣言番号は、ホームページに掲載しますのでご了承ください。
 ※ この申出書の情報及び宣言番号は、くまもとグリーン農業の推進のため当該市町村に提供しますのでご了承ください。
 ※ 生産宣言をされた方には、くまもとグリーン農業に関する資料や研修会の案内を送付する場合がありますので、ご了承ください。

6. QA一覧	改訂日	2014/3/25	改訂者	八太
---------	-----	-----------	-----	----

【1】QA一覧
システムでわからないことがある場合、以下をご参照ください。

問題点概要	問題点詳細	確認項目	説明	対応
システムの起動	ファイルが開かない	「インストールフォルダ」を確認してください	「インストールフォルダ」の場所の文字数が長い場合、文字数の上限（OSでの上限）を超えている可能性があります。	「インストールフォルダ」を変更してください。推奨は「C:\サポートシステム」です。
	ファイルは開いたがマクロが動作しない	Excelのマクロ動作設定を確認してください	お使いのExcelでマクロが動作しない設定になっている可能性があります。	お使いのExcelにてマクロが使用できるよう変更してください。
		お使いのExcelが2010以降のバージョンで、かつ「インストールフォルダ」がネットワーク上の場合、保護ビューの設定を確認してください	Excel2010以降で実装されている「保護ビュー」の機能を使用してファイルを開いた場合、マクロが動作しません。	インストールフォルダを変更してください。推奨は「C:\サポートシステム」です。または、お使いのExcelの「保護ビュー」の設定を解除してください。保護ビューの解除方法は「付録2_スタートアップガイド」をご参照ください。
入力	どの項目を入力したらよいかわからない	セルの背景色を確認してくださいキーボードの「Tab」キーを押して下さい	背景色が白の項目が入力可能項目です。	Tabキーを押すと入力可能なセルにカーソルが移動します。
	セルの書式設定が変更できない	—	入力ファイルではセルの書式設定は変更できません。	—
	シートの追加・削除ができない	—	入力ファイルではシートの追加・削除はできません。	—
	どのセルにも入力できてしまう	マクロが動いていることを確認してください	お使いのExcelでマクロが動作しない設定になっている可能性があります。	お使いのExcelにてマクロが使用できるよう変更してください。
	入力途中でExcelが強制終了した	ファイル保存フォルダを確認してください	「1. 概要」【4】にあるとおり、作業中に「入力ファイル」をExcelファイルとして保存していれば、「ファイル保存フォルダ」に保存されています。	「ファイル保存フォルダ」内の入力用ファイルをお使いください。
保存	自分の作成した入力ファイル、申請書が見当たらない	ファイル保存フォルダを確認してください	「ファイル保存フォルダ」は、「インストールフォルダ」でファイルを開いた時間（正確にはマクロが動き出した時間）の年月日時分秒でフォルダを保存します。	入力ファイルおよび申請書のファイルは「ファイル保存フォルダ」に保存しています。作業開始時の時間に該当する「ファイル保存フォルダ」の中をご確認ください。
	ファイル保存フォルダが多すぎてわからない	不要ファイルは別のフォルダに移動するか、または削除してください	申請書を不要と判断する基準が不明確なため、本システムには作成した申請書の削除機能はありません。	不要なファイル保存フォルダについては、利用者さま自身での移動または削除をお願いします。
印刷	紙詰まりのため印刷ができなかったので再印刷したい	ファイル保存フォルダを確認してください	一度印刷を行った申請書は「ファイル保存フォルダ」にExcelファイルとして保存されていますので、そちらをExcelで開いて再印刷を行って下さい。	ファイル保存フォルダのファイルを使用して再印刷を行って下さい。なお、申請書を直接印刷する場合は、「第5号様式／一覧表」に情報は追記されません。
その他	インストールフォルダの入力ファイルが破損した	—	システム初期起動時の入力用ファイルで破損した入力用ファイルを上書きして下さい。	—

【1】資料について

(1) 資料1_品目・技術対応表

エコファーマーで指定する各品目と、その品目ごとの「利用可能な技術」および「化学肥料由来窒素分量」「化学農薬使用回数」の使用回数目安を記載している資料です。

(2) 資料2_エコファーマー・グリーン農業技術対応表

エコファーマーで各品目に利用する「技術」と、くまもとグリーン農業で各品目に利用する「技術」の対応をまとめた資料です。

【2】付録について

(1) ご利用の手引き

本システムをご利用するにあたり、使用開始のための準備と、システム操作における基本事項を記載した資料です。

(2) スタートアップガイド

本システムの使用開始のための準備について、「(1) ご利用の手引き」より詳細に記載した資料です。

(3) 簡易マニュアル

本システムの操作方法の基本について、「(1) ご利用の手引き」より詳細に記載した資料です。

【資料1：品目・技術対応表】

本表に、各作物(品目)に対して使用可能技術の記載と、各資材の使用の目安について記載します。

NO.	区分	品目名	フリガナ	技術																																使用の目安						
				有機質資材施用				化学肥料低減				化学農業低減																								化学肥料由来窒素 成分量 上限 (kg/10a)	化学肥料由来窒素 成分量 上限 (kg/10a) 肥効調節	化学農業 使用回数 上限 (回)				
				省令		県独自	省令																								県独自											
				1	2		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				32	33	34	35
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35				
				堆きゆう肥等の投入	稲ワラ・麦稈の鋤込み	緑肥作物利用技術	草生利用有機物還元	局所施肥技術	肥効調節型肥料施用技術	有機質肥料施用技術	灌水同時施肥技術	温湯種子消毒技術	機械除草技術	除草用動物利用技術	生物農薬利用技術	対抗植物利用技術	抵抗性品種栽培技術	台木利用技術	太陽熱利用土壌消毒技術	熱水・蒸気土壌消毒技術	反射資材利用技術	色彩粘着トラップ技術	黄色蛍光灯利用技術	紫外線除去フィルム利用技術	雨よけ栽培技術	トンネル栽培技術	防虫ネット利用技術	袋かけ栽培技術	フェロモン剤利用技術	マルチ栽培技術	深水栽培技術	マルハナバチ利用技術	移植栽培技術	循環ファン利用技術	浅刈(深刈)整枝技術	高設育苗栽培技術	地表面残さ焼却技術	作付前灌水技術				
96	花き	トルコギキョウ	トルコギキョウ	○	○			○	○	○										○	○	○	○				○											14	16	19		
97	花き	バラ	バラ	○				○	○	○																			○										35	40	非設定	
98	花き	ゆり	ユリ	○	○			○	○	○														○															27	31	11	
99	花き	グラジオラス	グラジオラス	○	○			○	○	○		○																											18	20	13	
100	花き	レザリーフファン	レザリーフファン	○						○																													11	13	非設定	
101	花き	ガーベラ	ガーベラ	○	○			○	○	○																		○											20	23	非設定	
102	花き	りんどう	リンドウ	○	○			○	○	○																													14	16	非設定	
103	花き	シクラメン	シクラメン	○				○	○	○																														非設定	非設定	非設定
104	花き	ホオズキ	ホオズキ	○	○			○	○	○																														14	16	非設定
105	花き	フバルディア	フバルディア	○	○			○	○	○																														16	18	非設定
106	工芸	茶	チャ	○				○	○	○																														39	45	13
107	工芸	いぐさ	イグサ	○	○			○	○	○																														34	39	11

【資料2:エコファーマー・グリーン農業技術対応表】

本表に、エコファーマーの技術名とグリーン農業の技術名の対応について記載します。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
グリーン農業技術 エコファーマー技術	局所施肥技術	有機質肥料施用技術	肥効調節型肥料施用技術	灌水同時施肥技術	温湯種子消毒技術	対抗植物利用技術	被覆栽培技術	機械除草技術	抵抗性品種・台木利用技術	フェロモン剤利用技術	除草用動物利用技術	熱利用土壌消毒技術	マルチ栽培技術	生物農薬利用技術	光利用技術	深水栽培（いぐさ）	マルハナバチ利用技術	移植栽培（ほうれんそう）	循環ファン利用技術	浅刈（深刈）整枝技術	冬期湛水管理	リビングマルチ	カバークロープ	GAP
1 堆きゅう肥等の投入																								
2 稲ワラ・麦稈の鋤込み																								
3 緑肥作物利用技術																								
4 草生利用有機物還元																								
5 局所施肥技術	○																							
6 肥効調節型肥料施用技術			○																					
7 有機質肥料施用技術		○																						
8 灌水同時施肥技術				○																				
9 温湯種子消毒技術					○																			
10 機械除草技術								○																
11 除草用動物利用技術											○													
12 生物農薬利用技術													○											
13 対抗植物利用技術						○																		
14 抵抗性品種栽培技術									○															
15 台木利用技術									○															
16 太陽熱利用土壌消毒技術												○												
17 熱水・蒸気土壌消毒技術												○												
18 反射資材利用技術															○									
19 色彩粘着トラップ技術															○									
20 黄色蛍光灯利用技術															○									
21 紫外線除去フィルム利用技術															○									
22 雨よけ栽培技術							○																	
23 トンネル栽培技術							○																	
24 防虫ネット利用技術							○																	
25 袋かけ栽培技術							○																	
26 フェロモン剤利用技術										○														
27 マルチ栽培技術													○											
28 深水栽培技術																○								
29 マルハナバチ利用技術																	○							
30 移植栽培技術																		○						
31 循環ファン利用技術																			○					
32 浅刈（深刈）整枝技術																				○				
33 高設育苗栽培技術																								
34 地表面残さ焼却技術																								
35 作付前湛水技術																								